

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児体育Ⅰ	演習	1	山本 章雄

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ： 幼児の「運動」「運動あそび」「体力づくり」について、基本理念・指導計画・指導方法等を理解する。

到達目標： ・ 幼児期における「体育」(運動・あそび・からだづくり)の意義と役割を理解し実行できる。

- ・ 幼児期の「体育」実施における留意点(発達段階配慮、安全管理、個人差、多様性)を説明できる。
- ・ 運動能力の要素に配慮した、様々な「動き」「あそび」「動作」を具体的に実施できる。

【授業の概要】

幼児期の「体育」(運動・あそび・体力づくり)は、基礎代謝の向上、脳神経系・運動器官の機能発達、また、多くの仲間とふれ合うことによる社会性醸成、人格形成において大変重要な役割を果たしている。この授業では、このような理論をバックボーンに、現場での具体的な取り組みをどのように行うかについてアクティブラーニングを活用し学んでゆく。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス(授業目標、授業内容、日程、アクティブラーニング、評価方法等の説明・意見交換)

事前学修課題: シラバスにより授業の概要を理解しておく【0.5時間】

事後学修課題: ガイダンスの内容を再確認し受講計画を立案する【0.5時間】

2. 幼児期になぜ「体育」(運動・あそび・体力づくり)が必要であるのか？

事前学修課題: 「体育」(運動・あそび・体力づくり)とは何かを調べておく【0.5時間】

事後学修課題: 幼児期の特性と「体育」必要性をまとめる【0.5時間】

3. 幼児期の子どもの心身の発達と「体育」(運動・あそび・体力づくり)との関係について

事前学修課題: 幼児の発達段階を理解しておく【0.5時間】

事後学修課題: 子どもの心身に与える「体育」の影響についてまとめる【0.5時間】

4. 近年の子ども達が抱える心身の問題と「体育」(運動・あそび・体力づくり)が果たす役割

事前学修課題: 近年の子どもが抱える心身の問題を整理しておく【0.5時間】

事後学修課題: 今日的課題と「体育」の効用について理解する【0.5時間】

5. 幼児体育に求められるいろいろな「ねらい」「ミッション」について

事前学修課題: 幼児期に特に必要な「体育」の役割について予習しておく【0.5時間】

事後学修課題: 「ねらい」「ミッション」を整理しておく【0.5時間】

6. 幼児体育の指導方法 ① 指導計画・指導案の作り方 (年間・期間・週間・単元など)

事前学修課題: 「指導計画」「指導案」とは何かについて調べておく【0.5時間】

事後学修課題: 具体的な種類・作成方法などについて再確認する【0.5時間】

7. 幼児体育の指導方法 ② 安全対策・安全管理

事前学修課題: 安全対策・安全管理の必要性について調べておく【0.5時間】

事後学修課題: 必要な項目、留意点について理解する【0.5時間】

8. 幼児体育の指導方法 ③ 個人差への配慮 (年齢差、発達段階差、ハンデキャップ)

事前学修課題: 配慮を要する幼児の個性・属性を列挙しておく【0.5時間】

事後学修課題: 多様な個性への対応について具体例を中心にまとめる【0.5時間】

9. 幼児体育の実践 ① からだを使った「基礎運動」「運動あそび」

<p>事前学修課題:いろいろな「基礎運動」「運動あそび」を調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:「基礎運動」「運動あそび」をカテゴリー毎にまとめておく【0.5時間】</p>
<p>10. 幼児体育の実践 ② 用具を使った「運動」「あそび」 ボール運動・フープ運動・なわ運動</p> <p>事前学修課題:ボール・フープ・なわ運動について調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:ボール・フープ・なわ運動の注意点・留意点を確認する【0.5時間】</p>
<p>11. 幼児体育の実践 ③ 移動用具を使った「運動」「あそび」 マット運動・とび箱運動・平均台運動</p> <p>事前学修課題:マット・とび箱・平均台運動について調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:マット・とび箱・平均台運動の注意点・留意点を確認する【0.5時間】</p>
<p>12. 幼児体育の実践 ④ 固定用具を使った「運動」「あそび」 鉄棒運動・すべり台運動・うんてい運動・総合遊具</p> <p>事前学修課題:鉄棒・すべり台・うんてい運動について調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:鉄棒・すべり台・うんてい運動の注意点・留意点を確認する【0.5時間】</p>
<p>13. 幼児体育の実践 ⑤ 表現力を育てる運動 リズム体操・ダンス</p> <p>事前学修課題:リズム体操・ダンス運動について調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:リズム体操・ダンス運動についての注意点・留意点を確認する【0.5時間】</p>
<p>14. 幼児体育の実践 ⑥ 季節に応じた運動・アウトドア運動 散歩・遠足・山登り・水遊び・雪あそび・運動会</p> <p>事前学修課題:季節に応じた運動・アウトドア運動について調べておく【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:季節に応じた運動・アウトドア運動の注意点・留意点を確認する【0.5時間】</p>
<p>15. 試験およびまとめ</p> <p>事前学修課題:全体を見直し理解する【0.5時間】</p> <p>事後学修課題:不明であった点を再度見直し理解しておく【0.5時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>幼児期の子どもの発達にとって「体育」(運動・あそび・体力づくり)は大変重要な要素の一つであり、近年の社会状況(機械化・情報化など)の変化によりその重要性はますます高まってきている。この授業では「体育」の実践能力を高めるため、「理論」と「実技」を一体的に学ぶことを目指しアクティブラーニング手法を活用し授業を進める。受講生には、主体的で積極的な学習・取り組みを期待する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>受講態度(30%)、発表・提出物(40%)、試験(30%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>提出物、試験等に必要がある場合、個別にコメントを行う。その他は授業時に口頭でコメントする。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特になし</p>
<p>【参考文献】</p> <p>元気な子どもを育てる「幼児体育」 前橋明 編著 保育出版社</p>
<p>【実務経験の有無】</p>

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児体育 I	演習	1	川野 裕姫子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ：保育・幼児教育のなかで運動による心身への効果、発達に見合った運動の意義を知り、保育現場に即応できる実践力を養う。

到達目標：①幼児があそびのなかで楽しみながら、十分に身体を動かすことのできる方法について実行できる。

②保育者・教育者にとって必要な身体表現・身体運動に関する基本的な知識や技能を習得し、運動あそびを自らの創意・工夫を織り交ぜて実行できる。

③子どもの運動機能の発達段階や個人差に配慮しながら、多様な運動あそびを構成することができる。

【授業の概要】

・「用具を使用しない・用具を使用する・身近な物を使用する」あそびを(1)～(5)の内容で活動する。

(1)競争を中心としたもの (2)技術の進歩を中心としたもの (3)ゲームを中心としたもの (4)模倣あそびを中心としたもの (5)鬼ごっこを中心としたもの

・実技中心の授業であるため、運動ができる服装、および体育館シューズを着用すること。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス、幼児体育の概念

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。[0.5 時間]

事後学習課題：幼児体育の必要性の確認をする。[0.5 時間]

2. 用具を使用していないあそび(じゃんけんあそび、かけっこリレー)

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題：本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

3. 用具を使用していないあそび(かくらべあそび)

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題：本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

4. 用具を使用していないあそび(ごっこあそび)

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題：本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

5. 手具を使用するあそび(輪、棒)

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題：本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

6. 手具を使用するあそび(コマ、竹馬)

事前学習課題：ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題：本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

7. 手具を使用するあそび(縄、ボール)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

8. 大型用具を使用するあそび(マット)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

9. 大型用具を使用するあそび(跳び箱)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

10. 大型用具を使用するあそび(平均台)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

11. 大型用具を使用するあそび(パラバルーン)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

12. 身近な物を使用するあそび(新聞)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

13. 身近な物を使用するあそび(風船)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

14. 身近な物を使用するあそび(タオル)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの特性を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本時の授業の内容や次回のおそびについての情報を収集し、あそびの内容や創意工夫した点などをノートに記録する。[0.5 時間]

15. 各自で工夫したあそびを発表、および授業のまとめ

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本時の授業のあそびの発表を確認する。[0.5 時間]

事後学習課題:本授業での様々な幼児のあそびの特性の違いや技能習得の確認及び反省をノートに記録する。[0.5 時間]

【学習のあり方】

学習:運動の得意、不得意に関わらず、積極的に身体を動かすように心がける。仲間と協力して積極的に行動をする。保育者を目指す学生としてふさわしい態度で臨むこと。仲間と協力して積極的に行動をする。

【成績評価】

授業内レポート提出を含む授業参加度(50%)、実技テスト(30%)、提出物(20%)

なお、8種目の実技テストをすべて合格することが評価の最低条件とする。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

毎授業内で提出されたレポートは翌週コメントを付けて返却する。

【テキスト】

特になし

【参考文献】

「保育所保育指針」「幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「小学校学習指導要領体育科」を必要に応じ、紹介する。

日本幼児体育学会「幼児体育—理論と実践—」大学教育出版

【実務経験の有無】